

はじめに **計画の意義等** : 計画の意義、計画の位置付け、対象区域、計画期間など

第1章 **課題** : 圏域の強み・弱み、取り巻く環境の変化等を分析した内容と、現況への対応方針

第2章 **将来像** : 課題を踏まえて目指す地域の概括的な方向性

第2章 **目標** : 将来像で示された概括的な方向性を分野ごとに具体化した、計画を通じて目指すべき目標

第3章 **主要な戦略** : 目標達成に向け、4つの目標に対する戦略を記載 ※現行の中部圏広域地方計画と概ね同様な構成

第4章 **主要な施策** : 「目標」を達成するために、広域の見地から行う必要がある主要な施策

第4章 **広域連携プロジェクト** : 目標を達成するために必要な広域性、戦略性、総合性、実効性の全ての性質を備えたプロジェクト

第4章 **施策群** **施策** : 広域連携プロジェクトを推進するための、より具体化された取組が施策、それらを小見出しでまとめたものが施策群

第4章 **個別事業** : 各主体が行う施策を構成する最小単位の事業

第5章 **計画の推進等** : 多様な主体の参画・協働、他圏域との連携、他計画・施策との連携、計画の進捗管理など、計画の推進に必要な事項

中部圏広域地方計画「基本的な考え方」(概要)

第1章

「第1章我が国と中部圏を取り巻く情勢」を踏まえた直面するリスク・中部圏の課題と求められる変化等

我が国、中部圏が直面するリスク

地域・暮らし・産業の存続の危機

- ・未曾有の人口減少、少子化、高齢化の加速
- ・新興国の台頭による国際競争の激化
- ・コロナ禍や国際情勢の緊迫化により顕在化した食料・エネルギーの供給・確保とグローバルサプライチェーンのリスク
- ・気候変動による自然災害の激甚化、頻発化
- ・インフラ老朽化の加速

地域・暮らし・産業の基盤壊滅の危機

- ・日本のまんなかで東海道新幹線や新東名・新名神などの中部圏と周辺圏域をつなぐ東西軸・南北軸の高速道路など陸上交通の要衝に位置することから、南海トラフ地震等による被害が、我が国の社会経済全体へ影響を及ぼす恐れ
- ・切迫する南海トラフ地震及びそれによって引き起こされる津波が、全国最大のゼロメートル地帯を有し、かつ沿岸部に産業が集積する中部圏に壊滅的な被害を及ぼす恐れ

中部圏の課題と求められる変化

- ・強靱な圏土の構築
- ・産業の災害対応力の強化
- ・グローバルサプライチェーンの強靱化
- ・産業の生産性向上
- ・産業の脱炭素化
- ・社会全体でのカーボンニュートラルへの対応
- ・デジタル技術の徹底活用
- ・若者・女性の圏外転出の抑止
- ・コロナ禍を契機とした働き方・ライフスタイルの変化
- ・外国人労働者を含む包摂的な社会の形成
- ・リニア中央新幹線の開業による日本中央回廊の形成

中部圏が守り、活かすもの

- ・人々の暮らし、ゆとりある生活環境、多様な主体による地域づくり
- ・中部圏に息づく固有の歴史・文化、豊かな自然環境
- ・我が国の社会・経済を支えてきた中部圏のものづくり技術と多様な産業

我が国と中部圏が直面するリスクと中部圏の課題、求められる変化等

第2章

中部圏で暮らす人々のWell-beingを向上するためのビジョン

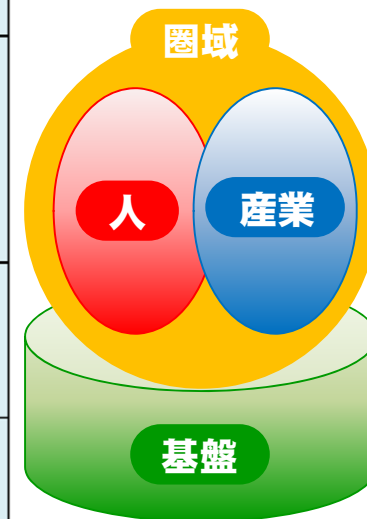
目指す中部圏の将来像

生活の質が高く持続的に成長する強靱な中部圏

- 豊かな自然、固有の歴史・文化、ものづくりをはじめとした多様な産業を有する中部圏各地域が個性を磨き、世界から人材が集まり、すべての人が活躍できるQOLの高い魅力的な地域をつくる。
- 美しい自然を維持しながら、産学官の連携のもと、我が国の社会・経済を支えてきた中部圏の特性を活かし、気候変動による災害の激甚化・頻発化、巨大地震やカーボンニュートラルへの対応などの世界的課題に挑み、新たな産業を育み、持続的に成長する強靱な地域をつくる。
- 交通・情報通信ネットワークの拡充により日本中央回廊の効果を最大化し、中部圏内の多様な地域が補完・連携して中部圏が一体となって我が国の社会・経済を牽引し、世界の拠点としての役割機能を果たす。

将来像実現に向けた目標	
目標1: 魅力あふれる地域の創出 1-1 活力ある地方の創生 1-2 暮らしやすい地域生活圏の形成	人 地域の個性を磨きすべての人が活躍し助け合う地域をつくる 生活の利便性を高め、豊かさが隅々まで行き渡る地域生活圏を形成する
目標2: ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化 2-1 ものづくりの高付加価値化と新産業の創出による産業の強化 2-2 持続可能な産業の構築	産業 世界に誇るものづくり技術を礎に、クリエイティブな仕事、イノベーションを生み出す地域となる 脱炭素化で世界をリードするとともに、レジリエンスの向上による持続可能な産業構造への転換を図る
目標3: 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり	圏域 ヒト、モノ、カネ、情報が集まる日本中央回廊の中心で、アジアの成長を牽引できる拠点となる
目標4: 恵みの活用、圏土の強靱化 4-1 魅力ある地域資源の保全・活用 4-2 地域が直面するリスクへの対応	基盤 3000m級の山々、川、海の恵みを楽しみ、保全活用する 南海トラフ地震や激甚化する豪雨災害、感染症などのリスクから地域をまもる

4つの目標
関係イメージ



国土づくりの戦略的視点

- ①民の力を最大限発揮する官民連携
- ②デジタルの徹底活用
- ③生活者・事業者の利便の最適化
- ④縦割りの打破(分野の垣根を越える横串の発想)